

2022年度 総合型選抜Ⅱ 国際社会志向型

適性検査

I 次の英文を読んで、問いに答えなさい。

Colors play an important role in our lives. They can remind us of a place, a time of year, or our favorite traditions, and can also shape the way we feel. But when it comes to what different colors symbolize in cultures around the world, these meanings can vary greatly. Read on to see how colors have shaped the history, emotions, and beliefs of different cultures over time.

Red is the most powerful of all colors in Indian culture and holds [ア] important meanings. Among them are fear and fire, wealth and power, purity, fertility, love, and beauty. Red also represents a certain time and place in one's personal life, including when an Indian woman gets married. In Thai tradition, each day of the week is assigned a specific color and is linked with a particular God. Red is the color for Sundays, and it is associated with Surya, a sun God who was born on this day. Many Thai people pay their respects to Surya by wearing red on his birthday [イ] year. In Chinese culture, red is traditionally worn at New Year, as well as during funerals and weddings. It represents celebration and is meant to bring luck, wealth, happiness, and a long life.

From sadness to royalty to trust, blue holds more meanings than any other color around the world. In Western cultures, blue is commonly associated with feeling sad—hence the phrase, having “the blues.” But it's also considered to be a calming and relaxing color that symbolizes trust, security, and authority—a reason why many American banks, such as Citi and Bank of America, use blue for their logo. Blue in the West is also a symbol of masculinity and represents the birth of a boy—the opposite of China, where blue is [ウ] a feminine color. In many Middle Eastern countries, blue means safety and protection, and is symbolic of heaven and
①religious belief.

Pink is widely accepted in Western cultures as the color for femininity, love, romance, caring, and the birth of a baby girl. And although many Eastern countries connect pink with these meanings, they don't apply to every culture. In Japan, for example, pink is worn by [エ] genders. In Korea, it symbolizes trust, and in Latin America, it is connected to architecture. For many years, pink was an
②unrecognized color in China until it was imported into the culture due to increasing Western influences—the Chinese word for it ③translate as “foreign color.”

II 次の英文1～8の() 内に入る最も適切な語を、それぞれ選択肢①～④から一つ選び、[] に記入しなさい。

1. He () to go to the museum every Saturday.
① went ② want ③ visited ④ used
[]

2. My employer () me permission to take a vacation.
① let ② gave ③ had ④ agreed
[]

3. My new job is harder () my old one.
① then ② than ③ compared ④ more
[]

4. We are studying hard in () for the exams.
① ready ② plan ③ preparation ④ taking
[]

5. When she was young, she () played soccer.
① sometimes ② could ③ did ④ liked
[]

6. My mother baked a cake () my birthday.
① to ② with ③ for ④ at
[]

7. A good doctor should be () with his patients.
① kind ② sympathetic ③ hard ④ explain
[]

8. Japan is () of beautiful cities like Nara and Kyoto.
① full ② many ③ famous ④ lots
[]

Ⅲ 次の1から8の英文の（ ）内の語を日本語の意味になるように並べかえ、文を完成させなさい。

1. 彼女はヨーロッパの歴史をよく知っています。

She (familiar, history, European, very, with, is).

She _____.

2. 彼は、休日の計画について、彼女の考えに同意した。

He (with, plan, her, holiday, about, agreed, the).

He _____.

3. 富士山は冬には雪でおおわれます。

Mount Fuji (winter, in, with, snow, covered, is).

Mount Fuji _____.

4. 外国の文化について学ぶのは楽しい。

It's (foreign, fun, cultures, about, learn, to).

It's _____.

5. 両親は私とその大学に入学することを期待している。

My (enter, parents, that, me, university, to, expect).

My _____.

6. 私は両親と留学のことを相談した。

I (studying, my, abroad, talked, parents, with, about).

I _____.

7. アリスは、理科ではクラスの誰よりもできる。

Alice (science, class, at, better, anyone, is, than, in).

Alice _____.

8. 仕事をやめてしばらく休みましょう。

Let's (working, relax, while, a, and, stop, for).

Let's _____.



IV 次の文を読んで、問いに答えなさい。

シテイズンシップ・エデュケーションの目的として、「質の高いシテイズンシップ・エデュケーションは、(X) を助ける。シテイズンシップ・エデュケーションは、とりわけデモクラシーと政府、法の制定と⁽¹⁾シミュレーションに対する生徒たちの強い認識と理解を育むものでなくてはならない」と書かれてあり、「政治や社会の問題を⁽²⁾ヒヒョウ的に探究し、エビデンスを見きわめ、ディベートし、根拠ある主張を行うためのスキルと知識を生徒たちに授ける授業でなくてはならない」とされている。

⁽³⁾キーステージ3では、議会制民主主義や自由の概念、政党の役割、法の本質や司法制度、市民活動、予算の重要性などを学ぶらしいのだが、こういった(Y) な事柄をどうやって11歳の子どもたちに導入していくのだろう。

「試験つて、どんな問題が出るの？」

と息子に聞いてみると、彼は答えた。

「めっちゃ簡単。期末試験の最初の問題が『エンパシーとは何か』だった。で、次が『子どもの権利を三つ挙げよ』っていうやつ。全部そんな感じで楽勝だったから、余裕で満点とれたもん」

得意そうに言っている息子の脇で、⁽⁴⁾ハイクウシヤが言った。

「ええつ。いきなり『エンパシーとは何か』とか言われても俺はわからねえぞ。それ、めっちゃタイプっていうか、難しくね？で、お前、何て答えを書いたんだ？」

⁽⁵⁾「自分で誰かの靴を履いてみること、つて書いた」

自分で誰かの靴を履いてみること、というのは英語の定型表現であり、他人の立場に立ってみるという意味だ。日本語にすれば、empathyは「共感」、「感情移入」または「自己移入」と訳されている言葉だが、確かに、誰かの靴を履いてみるというのはすこぶる的確な表現だ。

「子どもの権利を三つ書けつてのは何て答えたの？」

と尋ねると、息子は言った。

「教育を受ける権利、保護される権利、声を聞いてもらう権利。まだほかにもあるよ。遊ぶ権利とか、⁽⁶⁾経済的に搾取されない権利とか。国連の児童の権利に関する条約で制定されてるんだよね」

英国の子どもたちは小学生のときから⁽⁷⁾子ども⁽⁸⁾の権利について繰り返し教わるが、ここで初めて国連の子ども⁽⁹⁾の権利条約という形でそれが制定された歴史的経緯などを学んでいるようだ。

「そういう授業、好き？」

とわたしが聞くと息子が答えた。

「うん。すごく面白い」

実はわたしが日々の^(注)執筆作業で考えているような問題を中学1年生が学んでいるんだなと思うと複雑な心境にもなるが、シテイズンシップ・エデュケーションの試験で最初に出た問題がエンパシーの意味というのには、ほお、と思った。

「エンパシーって、すごくタイムリーで、いい質問だね。いま、英国に住んでいる人たちにとって、いや世界中の人たちにとって、それは切実に大切な問題になってきていると思うから」

「うん。シテイズンシップ・エデュケーションの先生もそう言ってた」

と、ちょっと誇らしげに顎をあげてから息子は続けた。

「EJ離脱や、テロリズムの問題や、世界中で起きているいろんな混乱を僕らが乗り越えていくには、自分とは違う立場の人々や、自分と違う意見を持つ人々の気持ちを想像してみることが大事なんだって。つまり、他人の靴を履いてみること。これからは『エンパシーの時代』って先生がホワイトボードにでつかく書いたから、これは試験に出るなってピンと来た」

エンパシーと混同されがちな言葉にシンパシーがある。

両者の違いは子どもや英語学習中の外国人が重点的に教わるポイントだが、オックスフォード英英辞典のサイト(oxfordlearnersdictionaries.com)によれば、シンパシー(sympathy)は「1. 誰かをかわいそうだと思う感情、誰かの問題を理解して気にかけていることを示すこと」「2. ある考え、理念、組織などへの支持や同意を示す行為」「3. 同じような意見や関心を持っている人々の中の友情や理解」と書かれている。一方、エンパシー(empathy)は、「他人の感情や経験などを理解する能力」とシンプルに書かれている。つまり、シンパシーのほうは「感情や行為や理解」なのだが、エンパシーのほうは「能力」なのである。^(注)前者はふつうに同情したり、共感したりすることのようだが、後者はどうもそうではなさそうである。

(ブレイティみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』による)

(注) キーステージ3 —— 英国の公立学校教育における7年生から9年生にあたる。

問 1 傍線部(ア) ～ (ウ)のカタカナを漢字にしてください。

(ア) ジュンシユ ()

(イ) ヒヒヨウ ()

(ウ) ハイグウシヤ ()

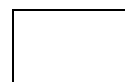
問 2 傍線部 (エ)・(オ)の漢字を平仮名にしてください。

(エ) 搾取 ()

(オ) 執筆 ()

問 3 空欄 (X) に入る適切な内容を次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入してください。

- ① 社会において充実した積極的な役割を果たす準備をするための知識とスキル、理解を生徒たちに提供すること
- ② 社会生活を営む人間の間で行われる感覚・志向の伝達スキルを学ぶ機会を生徒たちに提供すること
- ③ 情報化社会で市民として必要なデジタルツールの操作や利活用の仕方、そしてリスク回避のための知識やスキルを生徒たちに提供すること
- ④ 認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験などを含めた汎用能力を向上させるため、能動的に学ぶ機会を生徒たちに提供すること
- ⑤ 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す機会を生徒たちに提供すること



問 4 空欄（ Y ）に入る適切な言葉を次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい

- ① サステイナブル
- ② ポリテイカル
- ③ エシカル
- ④ センシティブ
- ⑤ ボランティア

問 5 傍線部（ 1 ）「自分で誰かの靴を履いてみること」で、筆者が伝えたい内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 先輩社員が新人社員の仕事を裏で支えたり表に立って支援すること。
- ② ビットコインビジネスで破綻した親戚の借金を肩代わりすること。
- ③ 連敗を続ける自国出身の五輪選手に盛んに声援を送ること。
- ④ 一緒に街で暮らす外国籍住民の災害時の避難について考えること。
- ⑤ ライバル関係の選手が同じグラウンドで一緒に練習に励むこと。

問 6 傍線部(2)の「子どもの権利」について本文で言及されている内容と合致しないものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 親の暴力からいつでもかくまってもらえる。
- ② 労働に見合わない賃金で働かされ儲けのために利用されない。
- ③ 誰でも自由に授業を受けることができる。
- ④ 一人で過ごして好きなゲームをすることができる。
- ⑤ 罪を犯したら大人と同じように罰を受ける。

問 7 傍線部(3)の「前者はふつうに同情したり、共感したりすることのようだが、後者はどうもそうではなさそうである」について、筆者の伝えたいシンパシーとエンパシーの内容について、八〇字以内で要約しなさい。

	40
	80

点

V 次の1～15の問いに、日本語（いわゆるカタカナ語を含む）もしくはアルファベットで答えなさい。

問1 2021年5月、反政府ジャーナリストを拘束するために、ギリシャからリトアニアに向かっていた旅客機を強制着陸させたとされる東欧の国はどこか。

()

問2 2021年2月1日、軍がアウン・サン・スー・チー国家顧問やウィン・ミン大統領のほか与党の幹部を相次いで拘束し、全権を掌握した国はどこか。

()

問3 中国政府による深刻な人権弾圧が国際的な問題となっている中国最大の自治区に住むムスリム民族は何か。

()

問4 人種間に根本的な優劣の差があるとする思想のことを何というか。

()

問5 2020年のノーベル物理学賞を受賞した3名の研究者は、アインシュタインの一般相対性理論に基づいて、何の形成を理論的に証明したか。

()

問6 国連人種差別撤廃委員会が2018年に日本政府に勧告し、その改善・監督制度の改正を強く求めている外国人労働者の受け入れ制度とは何か。

()

問7 (1964年に) アジア地域で初めて開催されたオリンピックの開催都市はどこか。

()

問8 怪奇文学作品『怪談』や『知られざる日本の面影』等を著したことで知られるギリシャ生まれの日本民俗学者は誰か。

()

問 9 オックスフォード英語辞典で「In Japan: death brought on by overwork or job-related exhaustion. 」と解説されている日本の社会問題とは何か。

()

問 1 0 「集落の中で 65 歳以上の人口が 50%以上を占めている状態」と定義され、存続が危ぶまれる地域のことを何というか。

()

問 1 1 企業としての評価額が 10 億ドル以上で、非上場のベンチャー企業のことを何というか。

()

問 1 2 2018 年に発効した TPP に、初めて新規加入に向けた申請手続きを表明した欧州の国はどこか。

()

問 1 3 人間が疎外化された労働や、資本主義を超克した先に共産主義社会が確立されると説いた、『資本論』を著したドイツの思想家は誰か。

()

問 1 4 バングラデシュのムハンマド・ユヌスが設立した、無担保で困窮者に少額の資金を貸して自立を促す組織とは何か。

()

問 1 5 国連の公用語は、英語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語と残りの一つは何語か。

()

点